

科目名	外傷学							年度	2026
英語科目名	Traumatology							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	杉本知、青木伊之、加藤健太、宮本功三、後藤晃弘、秋田雄大、有山敦士	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院、整形外科にて勤務経験あり）		

**【科目の目的】**

日常診療で遭遇することの多い外傷（骨折、脱臼、捻挫、肉離れ）の診方や治療方法について学ぶ。

**【科目の概要】**

外傷と、その対応策および予防策を学びます。

**【到達目標】**

認定実技審査にて必要な知識とともに最終学年として必要な知識を習得することが重要である。発生機序、合併症、整復法、固定法、後療法を整理して習得する。後療法は他の授業であるが、それとは異なる視点から損傷部位を理解し、修復過程を考慮し柔道整復師の真髄である組織再損傷をしない程度での運動療法の基礎を身につける事が到達目標である。

**【授業の注意点】**

必要に応じて前年度のノートも必要となる。原則的には復習となるので知識の整理を意識することが肝要である。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	肩甲帯・肩関節の外傷について完全に理解している。	肩甲帯・肩関節の外傷について大体理解している。	肩甲帯・肩関節の外傷について部分的に理解している。	肩甲帯・肩関節の外傷についての理解がやや不足している。	肩甲帯・肩関節の外傷について理解していない。
到達目標 B	上腕から手指の外傷について完全に理解している。	上腕から手指の外傷について大体理解している。	上腕から手指の外傷について部分的に理解している。	上腕から手指の外傷についての理解がやや不足している。	上腕から手指の外傷について理解していない。
到達目標 C	骨盤・股関節の外傷について完全に理解している。	骨盤・股関節の外傷について大体理解している。	骨盤・股関節の外傷について部分的に理解している。	骨盤・股関節の外傷についての理解がやや不足している。	骨盤・股関節の外傷について理解していない。
到達目標 D	大腿から足趾の外傷について完全に理解している。	大腿から足趾の外傷について大体理解している。	大腿から足趾の外傷について部分的に理解している。	大腿から足趾の外傷についての理解がやや不足している。	大腿から足趾の外傷について理解していない。
到達目標 E	体幹の外傷について完全に理解している。	体幹の外傷について大体理解している。	体幹の外傷について部分的に理解している。	体幹の外傷についての理解がやや不足している。	体幹の外傷について理解していない。

**【教科書】**

教科書（柔道整復学・理論編公益社団法人全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。

**【参考資料】**

**【成績の評価方法・評価基準】**

試験・課題等を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		外傷学			年度	2026
英語表記		Traumatology			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	外傷総論	柔道整復術について理解する。	1 発生機序	各外傷の発生機序について理解している。	3	
			2 症状	各外傷の固有症状について理解している。		
			3 治療機序	各外傷の治癒機序について理解している。		
2	柔道整復学①	上肢の外傷（肩部）について理解する①	1 発生機序	肩部の外傷の発生機序を理解している。	3	
			2 症状	肩部の外傷の症状について理解している。		
			3 治療法	肩部の外傷の治療方法について理解している。		
3	柔道整復学②	上肢の外傷（肘部）について理解する②	1 発生機序	肘部の外傷の発生機序を理解している。	3	
			2 症状	肘部の外傷の症状について理解している。		
			3 治療法	肘部の外傷の治療方法について理解している。		
4	柔道整復学③	上肢の外傷（手部）について理解する③	1 発生機序	手部の外傷の発生機序を理解している。	3	
			2 症状	手部の外傷の症状について理解している。		
			3 治療法	手部の外傷の治療方法について理解している。		
5	柔道整復学④	上肢の外傷（手指部）について理解する④	1 発生機序	手指部の外傷の発生機序について理解している。	3	
			2 症状	手指部の外傷の症状について理解している。		
			3 治療法	手指部の外傷の治療方法について理解している。		
6	柔道整復学⑤	下肢の外傷（股関節部）について理解する①	1 発生機序	股関節部の外傷の発生機序について理解している。	3	
			2 症状	股関節部の外傷の症状について理解している。		
			3 治療法	股関節部の外傷の治療方法について理解している。		
7	柔道整復学⑥	下肢の外傷（膝部）について理解する②	1 発生機序	膝部の外傷の発生機序について理解している。	3	
			2 症状	膝部の外傷の症状について理解している。		
			3 治療法	膝部の外傷の治療方法について理解している。		
8	振り返り	後期1回～7回の講義の振り返り。	1 発生機序	各外傷の発生機序を理解している。	3	
			2 症状	各外傷の症状について理解している。		
			3 治療法	各外傷の治療方法について理解している。		
9	柔道整復学⑦	下肢の外傷（足関節部）について理解する③	1 発生機序	足関節部の外傷の発生機序について理解している。	3	
			2 症状	足関節部の外傷の症状について理解している。		
			3 治療法	足関節部の外傷の治療方法について理解している。		
10	柔道整復学⑧	下肢の外傷（足部）について理解する④	1 発生機序	足部の外傷の発生機序について理解している。	3	
			2 症状	足部の外傷の症状について理解している。		
			3 治療法	足部の外傷の治療方法について理解している。		
11	柔道整復学⑨	体幹の外傷（頸部）について理解する①	1 発生機序	頸部の外傷の発生機序について理解している。	3	
			2 症状	頸部の外傷の症状について理解している。		
			3 合併症	頸部の外傷の合併症について理解している。		
12	柔道整復学⑩	体幹の外傷（胸部）について理解する②	1 発生機序	胸部の外傷の発生機序について理解している。	3	
			2 症状	胸部の外傷の症状について理解している。		
			3 合併症	胸部の外傷の合併症について理解している。		
13	柔道整復学⑪	体幹の外傷（腰部）について理解する③	1 発生機序	腰部の外傷の発生機序について理解している。	3	
			2 症状	腰部の外傷の症状について理解している。		
			3 合併症	腰部の外傷の合併症について理解している。		
14	振り返り	後期9回～13回の講義の振り返り。	1 発生機序	各外傷の発生機序を理解している。	3	
			2 症状	各外傷の症状について理解している。		
			3 合併症・治療法	各外傷の合併症・治療方法について理解している。		
15	外傷学のまとめ	後期外傷学全体の振り返り。	1 発生機序	各外傷の発生機序を理解している。	3	
			2 症状	各外傷の症状について理解している。		
			3 合併症・治療法	各外傷の合併症・治療方法について理解している。		

評価方法：1. 小テスト、69. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等